

さがみはら 市史編さんだより 第16号

2004.1.6

相模原市構想鳥瞰図

「相模原市構想鳥瞰図」は、1951（昭和26）年5月に、町制10周年を記念して製作されました。縦168cm、横358cmと大きなもので、当時考えられていた将来の相模原市の姿が描かれています。1954（昭和29）年に現在の場所に移転した市役所本庁舎、1973（昭和48）年に全面オープンした鹿沼公園、1988（昭和63）年に開業したJR横浜線古淵駅など、実際に実現しているものもあり、現在の市内の様子と比べてみると、とても興味深いものがあります。

しかし、この図に関する資料が残されていないために、何年後の様子を描いたものなのかなどの詳しい製作の経過はわからず、また、図の右上に落款（作者の署名・下の写真）があるものの、作者の特定もできていません。ただ、図に描かれている内容から、当時考えられていた相模原の将来計画等に関する資料がもとになっていると推測されます。

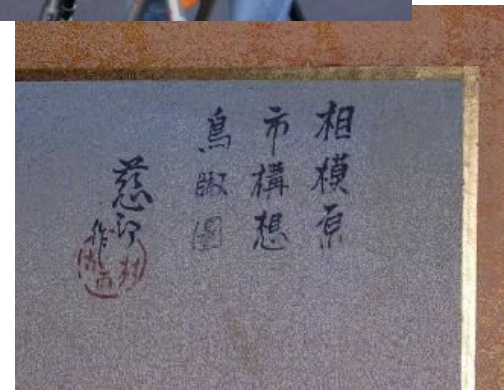


鳥瞰図撮影の様子

製作後は旧市役所の市長室や現在の本庁舎ロビーなどに展示されていましたが、現在は博物館に収蔵されています。

市史編さん室では、昨年12月にこの鳥瞰図の写真撮影を行いました。この写真は今年刊行予定の現代図録編に掲載する予定です。

（主査 小原 隆）



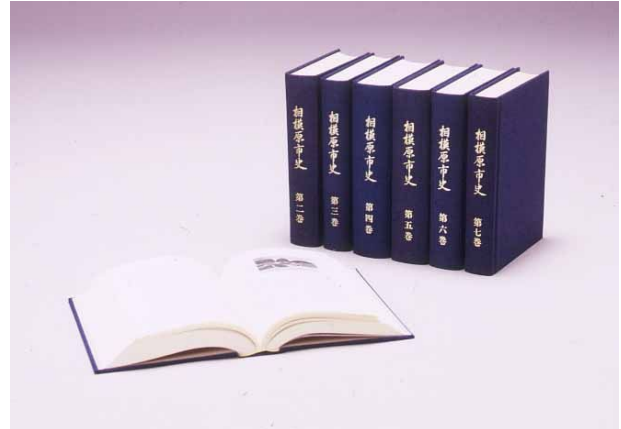
市史 7 巻セットを特別価格で

4月1日から販売開始

現在販売中の既刊市史は、全国各地で編さんが行われている市町村史の先駆けとして、昭和39年から47年にかけて編さんされたものです。

「資料編」を持ち、その資料をもとに「通史編」をまとめ、全7巻という量は、当時全国的にも注目を集めました。

平成16年の市制50周年を記念して、今年の4月1日から1年間に限り、7巻セット2万1,300円を、特別価格1万円で販売することになりました。なお、限定100セットの販売となります。お問い合わせは市史編さん室へどうぞ。



市役所行政資料コーナー・図書館・博物館等で閲覧ができます。

現代編探訪 4 砂利専用引込線跡

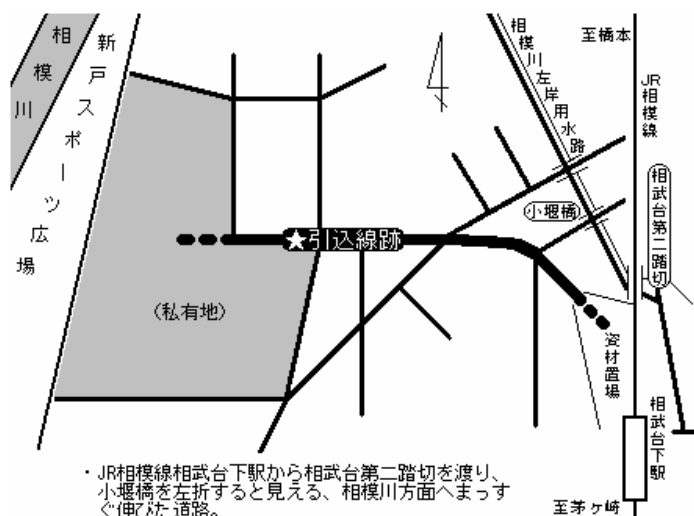


1953（昭和28）年10月の国鉄発行「鉄道公報」第1254号によると、現JR相模線番田・原当麻・相武台下の各駅には、砂利運搬の専用引込線、いわゆる「砂利線」が敷設されており、相武台下駅には2本敷かれていました。そのうちの1本の跡が、相武台下駅付近から相模川方面へ曲がる細いカーブの道です。

江戸時代に始まったとされる相模川での砂利採取は、明治期には採取量を徐々に増し、都市基盤が壊滅的な打撃を受けた関東大震災や第二次世界大戦後の復興事業の中で、多摩川の砂利とともにその需要を大幅に伸ばしました。砂利の大量輸送を可能にした相模線（当時相模鉄道）の開通は、相模川砂利採取が産業化する決定的な契機となり、生産量のピークを迎える昭和30年代後半には、一日に90両もの貨車が、東京・横浜へ砂利を運んでいます。このような大量採掘は、全河川平均5mという尋常でない河床の低下を招き、相模川の砂利採取は、1964（昭和39）年に全面禁止されました。

東京・横浜の近代化と、二度にわたる復興を支えた相模川砂利採取。採取禁止から40年を経た今、かつてを偲ばせる引込線跡が、現在の道なりに残されています。

（調査員 五味ゆかり）



前市史編集室の

写真から 14

今回は昭和39年5月に撮影された、下溝地区の写真です。

左側が鳩川、右側が姥川で、2本の川が合流する地点です。鳩川は城山町と相模原市の境界付近から流れ出し、市域を北西から南東方向に流れています。一方の姥川は、下九沢地区の作の口付近から流れ出して、ここで鳩川に合流します。この先、鳩川は道保川とも合流し、相模川に流れ込んでいます。

下の写真は平成14年8月に撮影したものです。近年この付近は、河川改修と区画整理事業が行われ、コンクリートの護岸壁と新しい住宅など、風景は大きく変化しました。

(主任 方波見 淳)



市史編さん審議会を開催

12月20日(土)、平成15年度第2回市史編さん審議会が開催されました。審議会は市史編さんに関する重要事項について審議する大切な会議です。今回は、昨年10月に設置された専門部会や市史各編の進捗状況についての事務局からの報告を受け、出席の8人の委員により審議が行われました。とりわけ今年11月に刊行される現代図録編については、年表や目次、文章の量などについて具体的な意見をいただくことができました。次回の審議会は3月に開催予定です。

◇◇◇ 「市史講演会」のお知らせ ◇◇◇

日時：平成16年3月6日(土) 午後2時～3時30分

テーマ：「相模野ー近世から現代へー」

講師：神崎彰利(市史編さん室特別顧問)

会場：市立博物館地階大会議室(横浜線淵野辺駅下車徒歩20分、路線バスもあります)

定員：200名(当日先着順)

対象：15歳以上の人(中学生は除く) 受講料：無料

内容：知られざる相模野(野っ原)の開発の歴史をひも解いていきます。



編さん室の動き (11月～12月)

月	日	内 容
11	5	現代図録部会開催
	6	考古部会開催 資料調査（広聴広報課）
	12	資料調査（総務課）
	14	現代図録編執筆者浜田氏・清水氏が打合せに来室 相模原市書店協同組合と市史の書店販売について打合せ
	15	現代編関係資料翻訳委託先の畑中氏が打合せに来室（12/1 契約）
	18	自然編岩野編集委員が打合せに来室
	27	埋蔵文化財整理作業室（新磯野）で考古資料整理
	28	資料交換会に参加（横浜・県立図書館）
12	2	市内景観写真撮影
	3	現代図録部会開催 現代編栗田編集委員が米軍資料の選別検討に来室
	4	県立歴史博物館・県埋蔵文化財センター（横浜）と考古資料の打合せ
	6	現代図録編執筆者羽田氏が打合せに来室
	13	個人所有資料調査（上溝）
	19	「相模原市構想鳥瞰図」写真撮影（博物館特別展示室） 自然部会開催
	20	平成15年度第2回市史編さん審議会開催
	24	近現代部会開催
	25	農文協図書館（練馬区）へ民俗資料調査
	27	市史編さん室仕事納め式

「さがみはら市史編さんだより」第16号

発行 平成16年1月6日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp